

週日の説教

金 大烈 神父 2010年12月2日(木)

《実践する信仰 - 一番幸せな道を選びましょう - 》

今日の福音(マタイ 7・21、24 27)は、私達信仰者が毎日の生活の中でいつも思い出さなければならぬ言葉だと思えます。結局、行動し実践する信仰でなければ、何も実らないのです。頭や心の中でいくらよいことを考え、よいことを話せても、実践がなければ、言葉の意味、美しさの意味は全部なくなってしまうのです。私自身も反省したいと思います。

今日、司祭館を出る前にテレビを見ていました。この一年間に素晴らしい奉仕をした人々に賞を授ける番組で、5～6人の人が出演していました。

最初の方は科学者でしたが、全財産の50億円以上を全て寄付し、自分は横になれるだけの小さい部屋で生活をしている人でした。

次の方は、80歳を超えている有名な歯科医でした。今までに儲けたお金を全て使って、6歳から24歳までの子ども達が通うある特別支援学校の中に歯科医院を作りました。そして1円ももらわずに子ども達のために心をこめて治療を行っている人でした。

3人目も持っているお金を全て使い、身寄りのない体の動かないおばあさん達7人くらいと一緒に暮らし、掃除や洗濯など身の回りのことを全て行っている人でした。この方は、偶然放送局の人が見つけて、賞を受ける対象となりました。

5～6人が紹介されたのですが、私が見たのはその3人の部分だけでした。

「疲れませんか」という質問に対して、最初の方は、「本当に疲れます。しかしそれ以上に得られるものがあります。これは人のためにしているのではなくて、自分のためにしているのですから、私は本当に欲張りです。」と答えました。次の方は、「私の寿命はもう何年も残っていないと思うのですが、今一番心配しているのは、後継者が見つからないことです。私がこの仕事を辞めてしまうと、この可哀そうな子ども達の歯の治療はどうなるのか、本当に心配です。しかし、きっとどこかに私の様な愚かな者がいるのでしょう。希望を持っています。」と答えました。そして3人目の方は、「良いことは誰にも知られないようにするべきなのに、このように人に知られてしまって、本当に恥ずかしいです。」と答えました。

このような人々は、誰が見ても美しくて見事な、人を生かせる心を持っているのでしょう。そして、人生の中で一番幸せになれる道を選んだのでしょう。彼らは、イエス様がいつも福音でおっしゃっている幸せな人、永遠の命が保証されている人々だと思えます。その振る舞いや心を見て、いろいろな人々が見習おうとします。それは、人間として一番幸せな生き方だと思えます。良いことをしようとしても、条件がそろわなくて出来ない人もたくさんいます。しかし彼らは、神様から与えられた才能があり、それを全部使って素晴らしい目的を果たそうとしています。ある意味では欲張りな生き方を

する人々かもしれません。このような生き方をするのは馬鹿みたいだ、と思う人もいるでしょう。しかし、本当は一番賢い人々だと思います。あのようなことをするためには、勇気も必要でしょう。人との関わりに難しさもあるでしょう。自分の弱い心を全部克服しなければならないでしょう。いろいろなことがあると思います。しかし、その5～6人の顔は、本当に明るくて天使のようなでした。一番幸せな道を選んだ人々だと私は確信します。

私たちも、持っている物があってもなくても、このような道を歩むことができれば、一番幸せな、後悔しない人生になるのではないのでしょうか。

ありがとうございました。